

県内市町の医療費助成年齢
(通院) 6 9 12 15 18歳

三次市・安芸高田市・安芸太田町
北広島町・世羅町・神石高原町

大竹市・三原市・尾道市・府中市
庄原市・海田町・大崎上島町

呉市・竹原市・江田島市
府中市

広島市・廿日市市
東広島市

福山市
熊野町・坂町

2018年7月時点調べ

福山は遅れてる!

9月に取りまとめ 来年春には実施!?

子どもの医療費助成制度 ついに 拡充に大きく前進!

中学3年生まで 無料化を早く

子どもの医療費助成制度の対象年齢の拡大は、子育て世代の切実な願いであり、日本共産党市議団は長年、議会論戦や署名活動に市民のみなさんと力をあわせて取り組んできました。

「子ども実態調査」の結果、「子どもを医療機関に受診させなかったことがある」と答えた「生活困窮層」の保護者は、小学生24%・中学生30%に及び、その理由は「医療費が支払えないため」が最多でした。

すべての子どもがお金の心配なく必要な医療を受けるため、少なくとも中学3年生まで医療費を無料にするべきです。

市は、「医療費助成は9月に取りまとめる人口減少対策の重要な柱の一つ。現在、拡充に向けて検討している」と答弁しました。

また、取りまとめ後の実施時期について追及すると、「システム変更に6か月を想定」と答えました。

来年度から対象年齢が拡大されることが予想されますが、その範囲は確定していません。「中学3年生まで」を実現するため、日本共産党市議団は引き続きがんばります。

2017年6月の署名提出(昨年12月)

すべての子どものすこやかな成長を

子ども実態調査「生活困窮層」約3割が

福山市は、市内の小・中学生と保護者を対象に「子どもの生活に関する実態調査」を初めて行いました。経済的に生活が苦しい

家庭の子どもとの割合は、小学生で28%・中学生で33%に上ります。これは県平均を上回る高さです。経済状況によって、子どもの健康面や朝食摂取などの生活習慣、学校の授業の理解度や自己肯定感などに影響が及ぶとの傾向も明らかになりました。

すべての子どもがすこやかに成長できるよう、市として支援制度の充実が求められます。

※小学5年生・中学2年生と保護者約3000世帯を対象に42項目の質問調査、2018年3月結果発表

県に要望

転落事故を防ぐために

事故現場の調査=5月29日、新湊町

県道・市道の水路や側溝への転落死亡事故が後を絶ちません。県と市の連携した対策を求め、辻つねお県議とともに県知事あてに要望書を提出しました。

県・市に要望

市担当課と懇談=7月9日

被災者支援と防災対策の強化を

豪雨により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます

日本共産党市議団は、現地調査と被災者の声をもとに、二次災害防止と支援対策強化を求め、緊急要望書を県と市に提出しました。

詳しくは裏面を

教室にエアコンを

エアコン設置率

全国	広島県	福山市
49.6%	45.2%	3.8%

市内中学校の教室 34℃に達する暑さです

文部科学省は、54年ぶりに学校環境衛生基準を改正し、望ましい教室の温度を「28度以下」に見直しました。昨年7月、市内の小・中学校の教室の平均気温は、授業日13日のうち11日で28度を超えています。

福山市は「暑さ寒さへの適応能力を育む」などと言ってエアコン設置に消極的ですが、尾道、三原、府中市など近隣では次々と設置を決めました。

福山の子どもたちも快適な環境で勉強できるよう、一刻も早く設置すべきです。

公立小中学校の空調(冷房)設備設置状況(普通教室2017.4時点)

学校で朝ごはんを

朝食は、子どもの学力や体力を伸ばし、心身を育む大切なエネルギー源です。しかし、朝食をとれていない家庭が増えています。「多忙や経済事情により朝食を作るのが難しい家庭もある。学校で朝食の提供を」と求めました。

市 検討したい

市は朝食の大切さを認めながらも「学校内での提供は困難」と答えましたが、積極的な実施を重ねて求め、「検討したい」との答弁を得ました。子どもたちが気軽に朝食を食べられる体制づくりが重要です。